



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月6日

上場会社名 テイカ株式会社

上場取引所 東

コード番号 4027 URL <http://www.tayca.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 山崎 博史

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 総務部長 (氏名) 中務 康介

TEL 06-6943-6401

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日

2020年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	19,268	14.3	1,807	40.3	1,357	54.1	964	52.1
2020年3月期第2四半期	22,478	3.9	3,027	3.6	2,960	10.8	2,012	10.7

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 2,144百万円 (15.9%) 2020年3月期第2四半期 2,548百万円 (57.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	41.64	
2020年3月期第2四半期	85.61	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	68,383	48,575	70.5	2,081.13
2020年3月期	63,554	46,940	73.3	2,010.70

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 48,232百万円 2020年3月期 46,600百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		18.00		22.00	40.00
2021年3月期		18.00			
2021年3月期(予想)				18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2020年3月期 期末配当金の内訳 普通配当18円00銭、記念配当4円00銭

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,500	10.9	2,700	53.5	2,200	62.1	1,500	60.8	64.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	25,714,414 株	2020年3月期	25,714,414 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	2,538,350 株	2020年3月期	2,538,313 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	23,176,075 株	2020年3月期2Q	23,509,289 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により急速に悪化し、緊急事態宣言の解除後は経済活動が徐々に持ち直しつつあるものの、依然として極めて厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、成長を持続するため事業の再編成等に注力するとともに、製造原価の低減、業務効率の向上に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、導電性高分子薬剤や圧電材料の販売は堅調に推移したものの、汎用用途の酸化チタンや機能性微粒子製品の販売が低調であったことなどにより、売上高は192億6千8百万円（前年同期比14.3%減）となりました。営業利益は18億7百万円（前年同期比40.3%減）、経常利益は13億5千7百万円（前年同期比54.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億6千4百万円（前年同期比52.1%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメント別の概況は次のとおりであります。（添付資料の9ページ「セグメント情報」をご参照ください）

なお、第1四半期会計期間より、報告セグメントを従来の「酸化チタン関連事業」「その他事業」の2区分から「機能性材料事業」「電子材料・化成品事業」の2区分に変更しております。

機能性材料事業

汎用用途の酸化チタンは、国内外の塗料・インキ向けが低調に推移し、販売数量、売上高ともに前期を下回りました。

微粒子酸化チタン、微粒子酸化亜鉛等の機能性微粒子製品は、外出自粛やインバウンド需要の減少等の影響もあり、主用途のUVカット化粧品の需要が国内外で落ち込み、販売数量、売上高ともに前期を下回りました。

以上の結果、当事業の売上高は96億8百万円（前年同期比20.8%減）となりました。

電子材料・化成品事業

界面活性剤は外食需要の減少により業務用洗剤向けが低調に推移し、販売数量、売上高ともに前期を下回りました。

コンデンサ向けの導電性高分子薬剤は、在宅勤務等の増加に伴いパソコン用途向けが好調に推移し、販売数量、売上高ともに前期を上回りました。

無公害防錆顔料は、自動車の生産台数減少により国内外で低調に推移し、販売数量、売上高ともに前期を下回りました。

圧電材料は医療機器用の海外顧客向けの販売が順調に推移し、販売数量、売上高ともに前期を上回りました。

以上の結果、当事業の売上高は90億3千4百万円（前年同期比6.8%減）となりました。

その他

倉庫業は運賃収入や作業料等が減少し、売上高は前期を下回りました。

以上の結果、当事業の売上高は6億2千5百万円（前年同期比4.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産総額は、683億8千3百万円（前連結会計年度末比48億2千8百万円増加）となりました。これは主に、現金及び預金が22億9千5百万円、投資有価証券が17億7千3百万円、それぞれ増加したことによります。

負債合計は、198億7百万円（前連結会計年度末比31億9千4百万円増加）となりました。これは主に、設備関係未払金が18億4千7百万円、長期借入金が17億2千4百万円、それぞれ増加したことによります。

純資産合計は、485億7千5百万円（前連結会計年度末比16億3千4百万円増加）となりました。これは主に、利益剰余金が4億5千5百万円、その他有価証券評価差額金が12億2千9百万円、それぞれ増加したことによります。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は、営業活動によるキャッシュ・フローが、21億5千6百万円の収入（前年同期比9億9千1百万円収入額の減少）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益13億8千3百万円、売上債権の減少額22億6千1百万円、仕入債務の減少額10億3千1百万円によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、18億7千6百万円の支出（前年同期比8億3千8百万円支出額の減少）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出15億8千1百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、20億3千6百万円の収入（前年同期比29億1千7百万円収入額の増加）となりました。主な要因は、長期借入金の借入による収入30億円、長期借入金の返済による支出5億5千6百万円、配当金の支払額5億8百万円によるものであります。

この結果、当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末より22億9千5百万円増加し、130億8百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期業績予想につきましては、2020年8月5日に公表しました業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日付で「第2四半期業績予想と実績値との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」を公表しておりますのでご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,792	13,087
受取手形及び売掛金	13,302	10,953
商品及び製品	6,913	7,309
仕掛品	982	932
原材料及び貯蔵品	3,728	4,270
その他	546	516
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	36,261	37,068
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,151	5,439
機械装置及び運搬具（純額）	5,646	5,407
その他（純額）	5,103	7,315
有形固定資産合計	15,901	18,162
無形固定資産		
のれん	1,858	1,713
その他	274	239
無形固定資産合計	2,133	1,953
投資その他の資産		
投資有価証券	8,435	10,208
その他	845	1,013
貸倒引当金	△23	△23
投資その他の資産合計	9,258	11,199
固定資産合計	27,293	31,314
資産合計	63,554	68,383

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,787	3,703
短期借入金	1,359	2,176
未払法人税等	1,034	444
賞与引当金	405	416
その他	3,346	5,137
流動負債合計	10,934	11,877
固定負債		
長期借入金	1,652	3,376
環境対策引当金	1	1
退職給付に係る負債	3,236	3,248
その他	788	1,302
固定負債合計	5,679	7,929
負債合計	16,613	19,807
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,855	9,855
資本剰余金	6,766	6,766
利益剰余金	28,551	29,006
自己株式	△2,458	△2,459
株主資本合計	42,714	43,170
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,008	5,238
繰延ヘッジ損益	△85	△43
為替換算調整勘定	112	4
退職給付に係る調整累計額	△151	△137
その他の包括利益累計額合計	3,885	5,062
非支配株主持分	340	342
純資産合計	46,940	48,575
負債純資産合計	63,554	68,383

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	22,478	19,268
売上原価	16,274	14,431
売上総利益	6,204	4,837
販売費及び一般管理費	3,177	3,029
営業利益	3,027	1,807
営業外収益		
受取利息	1	5
受取配当金	119	118
その他	35	38
営業外収益合計	156	162
営業外費用		
支払利息	26	25
為替差損	78	0
たな卸資産廃棄損	77	11
操業休止関連費用	—	560
その他	41	13
営業外費用合計	223	612
経常利益	2,960	1,357
特別利益		
移転補償金	—	180
特別利益合計	—	180
特別損失		
固定資産除却損	69	143
本社移転費用	—	11
ゴルフ会員権売却損	4	—
特別損失合計	73	154
税金等調整前四半期純利益	2,886	1,383
法人税、住民税及び事業税	875	387
法人税等調整額	△12	17
法人税等合計	862	404
四半期純利益	2,024	978
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	13
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,012	964

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	2,024	978
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	610	1,229
繰延ヘッジ損益	△48	42
為替換算調整勘定	△49	△120
退職給付に係る調整額	11	13
その他の包括利益合計	524	1,165
四半期包括利益	2,548	2,144
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,529	2,142
非支配株主に係る四半期包括利益	19	2

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,886	1,383
減価償却費	1,203	1,080
のれん償却額	114	114
移転補償金	—	△180
受取利息及び受取配当金	△121	△124
支払利息	26	25
売上債権の増減額 (△は増加)	2,124	2,261
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,969	△914
仕入債務の増減額 (△は減少)	△615	△1,031
その他	121	307
小計	3,770	2,922
利息及び配当金の受取額	121	124
利息の支払額	△26	△25
法人税等の支払額	△717	△864
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,147	2,156
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,507	△1,581
投資有価証券の取得による支出	△6	△3
その他	△201	△290
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,714	△1,876
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△98	116
長期借入れによる収入	—	3,000
長期借入金の返済による支出	△389	△556
自己株式の売却による収入	0	0
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△374	△508
その他	△16	△15
財務活動によるキャッシュ・フロー	△880	2,036
現金及び現金同等物に係る換算差額	△15	△21
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△462	2,295
現金及び現金同等物の期首残高	13,388	10,713
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,925	13,008

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機能性材料 事業	電子材料・ 化成成品事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	12,138	9,688	21,827	651	—	22,478
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	586	(586)	—
計	12,138	9,688	21,827	1,237	(586)	22,478
セグメント利益	1,697	1,213	2,911	113	2	3,027

(注) 1. セグメント利益の調整額2百万円は、セグメント間取引消去額によるものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機能性材料 事業	電子材料・ 化成成品事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	9,608	9,034	18,642	625	—	19,268
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	686	(686)	—
計	9,608	9,034	18,642	1,312	(686)	19,268
セグメント利益	646	1,070	1,716	100	(9)	1,807

(注) 1. セグメント利益の調整額△9百万円は、セグメント間取引消去額によるものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、経営管理区分の明確化に伴い、報告セグメントを従来の「酸化チタン関連事業」「その他事業」の2区分から「機能性材料事業」「電子材料・化成品事業」の2区分に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

各報告セグメントに属する主な製品は次のとおりであります。

- (1) 機能性材料事業……………酸化チタン、微粒子酸化チタン、微粒子酸化亜鉛、表面処理製品等
- (2) 電子材料・化成品事業……………圧電材料、導電性高分子薬剤、界面活性剤、硫酸、無公害防錆顔料等